

さあ、 **キャリアねっと** に登録して
HTLV-1 キャリア登録サイト 

あなたの声を届けよう

キャリアねっと

検索 

HTLV-1 ウイルスはヒトのリンパ球に感染するウイルスで、感染者の一部の方が感染後数十年のうちに成人 T 細胞白血病（ATL）という血液がんや HTLV-1 関連脊髄症（HAM）という神経難病などを発症します。日本にも 100 万人以上の感染者がいることがわかっていますが、あまり一般には知られていません。感染ルートはおもに母乳による母子感染と性交渉による夫婦間感染です。

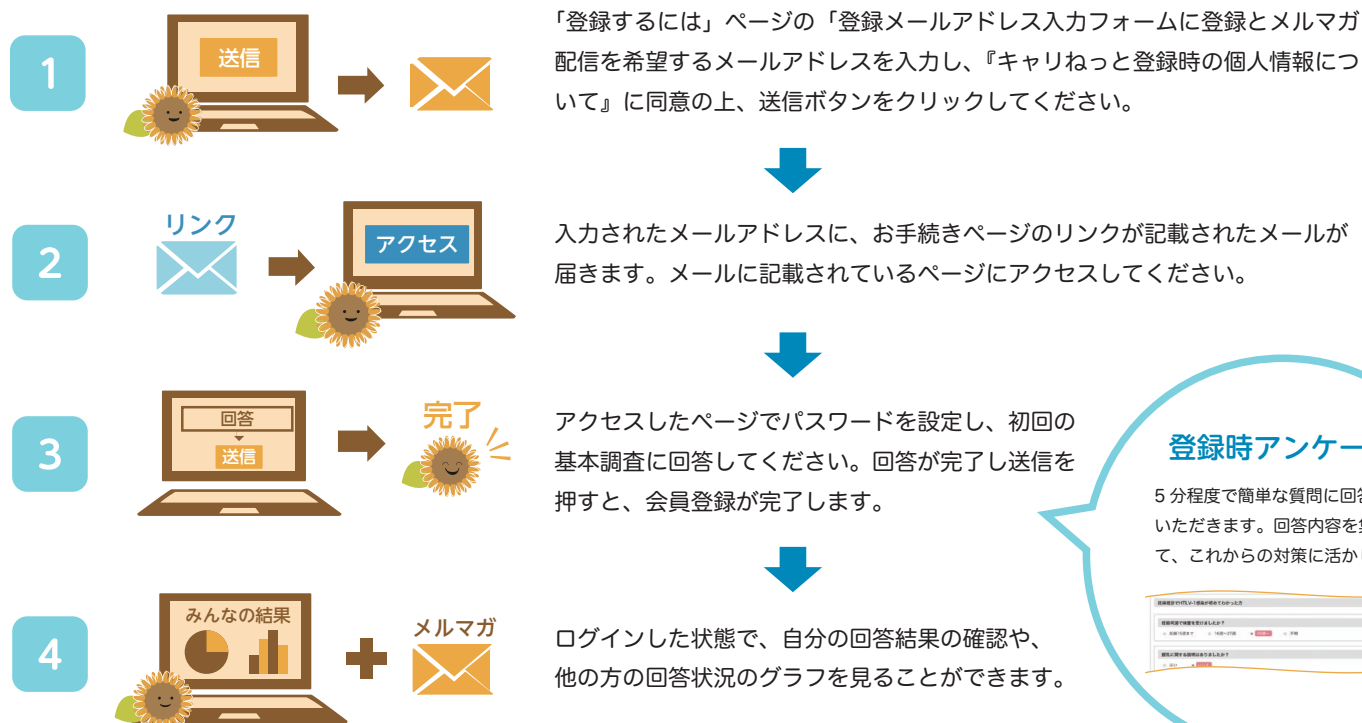
2011 年から国の HTLV-1 総合対策がはじまり、妊婦検診を通じた母子感染予防対策や、相談体制の整備が進められていますが、HTLV-1 ウイルスのことがあまり知られていないために、果たして十分な対策となっているのか、みなさんの声が届きにくくなっています。HTLV-1 キャリアのみなさんが、どのようにしてキャリアと判明したのか、困ったことはなかったのか、みんなはどうしているのか、みなさんの声を集めることが必要です。

このウェブサイトは HTLV-1 キャリアのみなさんのニーズを政策に反映していくため、厚生労働省の研究班が中心となって運営し、みなさんの情報を集約するために作られました。日本の HTLV-1 対策を進めるため、みなさんのちからが必要です。

厚生労働科学研究費補助金 がん対策推進総合研究事業
HTLV-1 キャリアと ATL 患者の実態把握、リスク評価、相談支援体制整備と
ATL/HTLV-1 感染症克服研究事業の適正な運用に資する研究

研究代表者 東京大学医科学研究所附属病院血液腫瘍内科
内丸 薫

登録するには



登録時アンケート

5分程度で簡単な質問に回答していただけます。回答内容を集計して、これからの対策に活かします。



キャリアねっとに登録すると

コラム

研究班メンバーを中心とする専門の医師などによるメンバーからのコラムを閲覧することができますようになります。

● コラム

第1回 内丸 薫 東京大学医学研究所附属病院 血液腫瘍内科 准教授

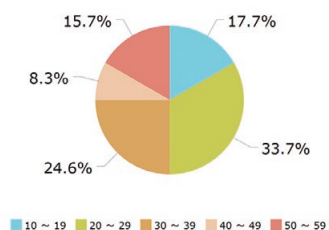
「はあ、キャリアねっと」
日本のHTLV-1ウイルス感染症は、九州、沖縄地方に自国に多いという偏った分布をしていることも一因となり、従来は国としての対策は取られておらず、地方自治体任せになっており、結果としてこれらの地域以外では疫学としては特別なものは取られていませんでした。しかし、その後の厚生労働省の研究班の調査などにより、福岡県や宮崎県など、大都市圏に居住する方が増加してきていることが分かってきました。安倍政権でも大都市圏への人口集中は問題になっていますが、この様な大都市圏への人口の移住により、キャリアの分布が変化してきているのです。このことはいままでの様にHTLV-1ウイルス対策を地方単位で行うのではなく全国的な視点で行う必要があることを意味しており、平成25年度からの国の取組としてHTLV-1国別対策が開始されました。経緯さんやHTLV-1ウイルス抗体検査を公費で全国で行うの一つの軸に、縦割体制の整備などいろいろあることが挙げられています。ご存知のように、抗体陽性を利用した場合は検出方法について厳格な基準がありますが、それ以上の期間、不変にこたえる体制が十分か、などまだまだ問題があります。一方で、厚生労働省はHTLV-1キャリアの方を対象とした検診を全国の保健所で行うことを想定して選定していますが、厚生労働省の研究班の調査では全国の60%以上の保健所ではキ



グラフ

アンケートの集計内容がグラフとして表示されます。登録しているみんなの様子がわかります。

何歳の時にHTLV-1 キャリアと診断されましたか？



メルマガ

メルマガに登録すると、研究班メンバーを中心とする専門の医師などによるメンバーからの情報提供のニュースなどが配信されます。



アンケート

HTLV-1 に関連してみなさんのご意見をうかがったり、現状をより詳しく調べるために、登録していただいた方を対象にアンケートを行うことがあります。

